

お知らせ

2025 年度各賞候補者の募集

本会では 2025 年度の下記各賞の候補者を募集しております。下記事項ご参照の上、候補者を奮ってご推薦下さいますようお願いいたします。

1. 賞名、授賞対象、授賞件数

賞 名	授 賞 対 象	授賞件数
日本化学会賞	本会会員であって、化学の基礎または応用に関する貴重な研究をなし、その業績が特に優秀な者。すでに他の賞を受賞した者も授賞対象とする。なお、学術賞の受賞者で、学術賞受賞後さらに顕著な業績をあげた場合には、その部分について学会賞の授賞対象とする。 授賞対象となる分野で本会会誌（Bull. Chem. Soc. Japan または Chem. Lett.）に以下のいずれかの発表実績のある者に授与する。 i) Accounts または Review を 1 報以上発表している者 ii) 主要な原著論文を 1 報以上発表している者	6 件 以 内
学 術 賞	本会会員であって、化学の基礎または応用のそれぞれの分野（①物理化学系（物理化学・工業物理化学）、②無機・分析化学系（無機・分析化学、無機工業・工業分析化学）、③有機化学系（有機化学・有機工業化学）、④材料化学・高分子化学系、⑤天然物化学・生体関連化学系（含医薬）、⑥複合領域（含情報・計算機化学、地球化学、環境化学、資源・エネルギー）において先導的・開拓的な研究業績をあげた者で、授賞対象となる分野で本会会誌（Bull. Chem. Soc. Japan または Chem. Lett.）に以下のいずれかの発表実績がある者、もしくは The Chemical Record に 1 報以上発表している者に授与する。 i) Accounts または Review を 1 報以上発表している者 ii) 主要な原著論文を 1 報以上発表している者 学会賞を除く他の賞を受賞した者も授賞対象とするが進歩賞の受賞者で、その受賞対象の主要部分が同一の場合は授賞対象としない。	12 件 以 内
進 歩 賞	本会会員であって、化学の基礎または応用に関する優秀な研究業績をあげ、授賞対象となる分野に強く関連する論文を、本会会誌（Bull. Chem. Soc. Japan または Chem. Lett.）に 1 報以上発表し、年齢が受賞の年（2026 年）の 4 月 1 日現在において満 37 歳に達していない者。	10 件 以 内
女性化学者奨励賞	化学の専門性を活かした学術研究に傑出した業績と貢献がある者で、社会貢献にも努め、国内外での研究活動・交流を通して我が国の女性化学者の地位向上に寄与し、将来の科学者・技術者を目指す学生や若手研究者の目標となる本会女性の会員を対象とし、年齢が受賞の年（2026 年）の 4 月 1 日現在において満 40 歳に達していない者。なお、すでに他の賞を受賞した者も授賞対象とする。	2 件 以 内
化学技術賞	本会会員に限らず、我が国の化学工業の技術に関して特に顕著な業績のあった者。個人を対象とするが、同一業績について 5 名以内の連名で受賞することができる。また、同一人が異なった業績で重ねて受賞することができる。	5 件 以 内
技術進歩賞	受賞時に本会会員であって、工業化の可能性のある独創的な化学技術を開発し、年齢が受賞の年（2026 年）の 4 月 1 日現在において満 40 歳に達していない者。グループによる共同研究の場合、3 名以内の連名での受賞が可能。ただし年齢は全員が受賞の年の 4 月 1 日現在において満 40 歳に達していない者。	3 件 以 内
化学教育賞	原則として本会会員であって、国際的または全国的視野において化学教育上、特に顕著な業績または功績のあった者。	3 件 以 内
化学教育有功賞	本会会員に限らず、化学教育に従事し、その組織または地域において教育上顕著な業績または功績のあった者、もしくは独創的な着想に基づく教育や評価方法の考案によって教育上顕著な貢献のあった者。	5 件 以 内

化学技術 有功賞	本会会員に限らず、化学および化学技術に関連する研究支援の業務をもっぱらとする者で、装置・器具の開発・改良、特殊技能などにより、特に貢献のあった者。個人を対象とするが、同一業績について3名以内の連名で受賞することができる。	若 干 数
功 労 賞	本会会員であって、本会の事業・運営等の活動に対し、顕著な功績があると認められる者。	若 干 数

※本会会誌の正式名称：Bulletin of the Chemical Society of Japan, Chemistry Letters

長倉三郎賞について

受賞候補者の推薦を募らず、本賞の授賞年度における日本化学会賞を除くすべての本会各賞（上記）の受賞者を、長倉三郎賞の受賞候補者とします。

授賞対象は、本会個人正会員または教育会員であって、特に独創性の優れた研究成果または業績をあげた者で、かつ高い将来性が期待できる者。

授賞件数は、毎年1名以内。ただし該当者なき場合はこの限りではない。

2. 推薦方法

候補者を推薦される方は、下記より所定の推薦用紙をダウンロードしてご記入の上、ご提出下さい。

<https://www.chemistry.or.jp/activity/prize/requirements.html>

3. 推薦書提出先

(1) 日本化学会賞、学術賞、進歩賞、女性化学者奨励賞、化学教育賞、化学教育有功賞

候補者が所属する支部の事務局。提出締切日は各支部によって異なります。支部の締切（必着日）は下記のとおりです。詳しくは各支部事務局へお問合せ下さい。

北海道支部	7月11日(金) ※電子フォームで受付。詳細は北海道支部 HP をご覧下さい。
東北支部	7月4日(金)
関東支部	7月25日(金) 17時 ※電子フォームで受付。詳細は関東支部 HP をご覧下さい。
東海支部	7月11日(金)
近畿支部	7月11日(金) 17時 ※電子フォームで受付。詳細は近畿支部 HP をご覧下さい。
中国四国支部	7月11日(金) 17時
九州支部	7月11日(金) ※電子フォームで受付。詳細は九州支部 HP をご覧下さい。

注：候補者、推薦者ともに所属支部にご提出下さい。

- 北海道支部：北海道
- 東北支部：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
- 関東支部：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県
- 東海支部：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、長野県
- 近畿支部：富山県、石川県、福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- 中国四国支部：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- 九州支部：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

(2) 化学技術賞、技術進歩賞、化学技術有功賞

本会事務局総務部賞係。提出締切日は、8月29日(金)（必着）です。なお、本賞の推薦資格者は、本会役員、支部役員、前(元)会長、本会会誌編集委員長、法人正会員、化学関係学協会会長および化学工業関係工業会会長、各部長および各ディビジョン主査です。

(3) 功労賞

本会事務局総務部賞係。提出締切日は8月29日(金)（必着）です。なお、本賞の推薦資格者は、役員、各部門、各委員会、各支部、各部長および各ディビジョン等の長です。

【問合せ先】

推薦書提出に関する窓口：

日本化学会 各支部事務局 <https://www.chemistry.or.jp/societyguide/branch/index.html>

総合の窓口：日本化学会 総務部賞係 101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5

E-mail: award@chemistry.or.jp 電話 (03) 3292-6161

2026 年度「代議員」立候補の受付について

会 員 各位

公益社団法人 日本化学会
北海道支部長 島田 敏宏
東北支部長 林 雄二郎
関東支部長 金原 数
東海支部長 森田 靖
近畿支部長 福井 賢一
中国四国支部長 犬丸 啓
九州支部長 後藤 雅宏

公益社団法人日本化学会は、個人正会員および教育会員の中からおおむね 100 人の中から 1 人の割合で選出される代議員をもって、根拠法となる法律上の社員といたします。

社員（代議員）とは、社員総会の構成員として、役員の選任・解任、計算書類の承認など法人の組織、運営に関する基本的事項について議決権を行使する方です。

本会では、代議員を立候補により受け付けます。

立候補は、支部ごとに受け付けますので、立候補される方は、所属する支部へ届け出て下さい。

記

1. 2026 年度代議員の任期

2025 年 11 月 1 日(土)～2026 年 10 月 30 日(金)

2. 代議員になれる方

個人正会員および教育会員

3. 立候補期間

2025 年 6 月 2 日(月)～6 月 30 日(月)正午〔支部事務局必着〕

4. 立候補の届け出方法、および届け出先

次頁の届出用紙をコピーしていただき、氏名、会員番号、会員種別、所属先、連絡先住所、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレスを記載の上、郵便等で立候補者の所属する支部事務局宛にご送付下さい。

5. 各支部の範囲と事務局所在地

北海道支部（北海道）

060-0001 札幌市中央区北一条西 3-3 ばらと北一条ビル 10F-3S 公益社団法人日本化学会 北海道支部
電話(080)2862-6084, E-mail: csjh@nifty.com

東北支部（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）

980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3 東北大学理学部化学科内 公益社団法人日本化学会 東北支部
電話/FAX(022)224-3883, E-mail: nikka.tohoku@chemistry.or.jp

関東支部（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県および国外）

101-8307 千代田区神田駿河台 1-5 公益社団法人日本化学会 関東支部
電話(03)3292-6161, FAX(03)3292-6318, E-mail: kanto@chemistry.or.jp

東海支部（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、長野県）

460-0011 名古屋市中区大須 1-35-18 一光大須ビル 7 階 公益財団法人中部科学技術センター内 学協会事務局
公益社団法人日本化学会 東海支部
電話(052)231-3070, FAX(052)204-1469, E-mail: nikka@cstc.or.jp

近畿支部（富山県、石川県、福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）

550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4 大阪科学技術センタービル 6 階 公益社団法人日本化学会 近畿支部
電話(06)6441-5531, FAX(06)6443-6685, E-mail: csjkinki@kinki.chemistry.or.jp

中国四国支部（鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県）

739-8526 東広島市鏡山 1-3-1 広島大学大学院先進理工系科学研究科化学プログラム内
公益社団法人日本化学会 中国四国支部
電話(082)420-0037, FAX(082)420-0036, E-mail: csj-cs@chemistry.or.jp

九州支部（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県）

819-0395 福岡市西区元岡 744 九州大学 W1-A920 公益社団法人日本化学会 九州支部

電話 (092) 802-4130, E-mail: qsibutcf@chem.kyushu-univ.jp

注：社員としての活動に対しては、謝金や旅費・交通費のお支払いの対象とはなりませんのでご了承下さい。

2026 年度「代議員」立候補届出用紙

年 月 日

日本化学会 _____ 支部長 殿

氏名 _____

私は、2026 年度「代議員」として立候補を届け出ます。

・候補者氏名 _____

・会員番号 _____

・会員種別 _____ ・所属先 _____

・連絡先住所 _____

・電話番号 _____ ・FAX _____

・E-mail _____

日本化学会秋季事業 第 15 回 CSJ 化学フェスタ 2025 各種募集のご案内

化学フェスタ実行委員会

2025 年 10 月 22 日(水)～24 日(金)、タワーホール船堀(東京都江戸川区)において“日本化学会秋季事業 第 15 回 CSJ 化学フェスタ 2025”を開催します。日本化学会秋季事業として 2011 年にスタートした CSJ 化学フェスタも今年で第 15 回を迎え、「産学官の先端研究者と議論し交流できる場」、「最新の研究や技術開発動向を把握し議論できる場」として好評をいただき、また公開企画の参加者も年々増え、「産学官の交流深耕」と「化学の社会への発信」を目的とした日本化学会独自の特長あるイベントとして定着してまいりました。今回も、より魅力的な企画、驚きの企画、参加して良かったと思っただけの企画を準備しています。詳細は本誌 8 月号に掲載しますので、ご期待下さい。

本号では 1) 学生ポスターセッションの発表募集、2) 産学官 R&D 紹介企画の出展募集、3) 広告募集、4) 参加登録についてご案内します。

なお、CSJ 化学フェスタには多くの学生が参加しますが、就職を控えた学生と企業との情報交流に関しては、すべての企画において政府の「就職・採用活動日程に関する考え方」を遵守することを申し添えます。

記

会 期	2025 年 10 月 22 日(水)～24 日(金)
会 場	タワーホール船堀 (東京都江戸川区船堀 4-1-1)
実行委員長	加藤隆史 (信州大学/岡山大学), 山田泰司 (花王)
重要な日程	学生ポスター発表募集期間 6 月 2 日～7 月 3 日
	産学官 R&D 紹介企画募集期間 6 月 2 日～7 月 3 日
	早期参加申込期間 8 月 1 日～9 月 11 日
	通常参加申込期間 10 月 1 日～会期当日
	プログラム公開 (Web) 8 月 1 日
	Web 予稿集公開 9 月 25 日

問合せ先 日本化学会 企画部 矢部・田中・久後・河瀬
E-mail: festa@chemistry.or.jp
URL: <https://festa.csj.jp/2025/>

学生ポスター発表 募集要項

学生と産学官の先端研究者が議論し交流することを目的として、学生ポスターセッションを実施します。審査を希望する発表については、「発表者の研究への寄与」、「質疑応答」、「研究の独自性と発展可能性」などを基準に産業界とアカデミアの審査員が審査し、優秀な発表に対して「優秀ポスター発表賞」が授与されます。中でも最も優れた発表に贈られる「最優秀ポスター発表賞（CSJ 化学フェスタ賞）」には副賞を贈呈するとともに、「化学と工業」誌（2026年1月号）へ受賞者コメントを掲載します。会場では同時に産学官 R&D 紹介企画の「R&D 展示ブース」が開催され、企業研究者と交流することもできます。また、今年も『博士課程学生オールセッション』を実施します。

1. ポスター発表について

(ア) 発表内容と発表者の条件

討論に重点を置くため、発表内容に発表者本人の既発表内容を含んでも構いません。発表者は学生に限り、発表件数は1人1件です。

(イ) 発表形式と発表時間

ポスター発表のみとし、発表時間は60分（1回のポスターセッションの時間は120分。ポスター番号により前半60分、後半60分が発表時間となります。）です。ポスターボードのサイズは高さ180cm×幅120cmの予定です。発表言語は日本語もしくは英語とします。

(ウ) 申込分類

1. 物理化学
2. 無機化学・触媒化学・分析化学
3. 有機化学
4. 錯体・有機金属化学
5. 天然物化学・生体機能関連化学・バイオテクノロジー
6. 高分子化学
7. 材料化学

(エ) ポスター発表賞

審査を希望するポスター発表に対して審査を行い、「最優秀ポスター発表賞（CSJ 化学フェスタ賞）」、「優秀ポスター発表賞」を授与します。**なお、過去に発表者がポスター発表賞を受賞している場合には、既発表内容からの進展や新規性が認められることが受賞の要件となります。**

(オ) 採否とプログラム編成

申込発表の採否およびプログラム編成（発表分野、日時など）は、化学フェスタ実行委員会に一任とします（希望と異なる場合もあります）。

(カ) 著作権

予稿集に記載された内容に関する著作権は、日本化学会に帰属するものとします。したがって本会が必要と認めるときは転載し、また外部からの引用の申請があったと

きは本会において検討の上、許可することとします。

(キ) 特許

本会は特許法第30条（発明の新規性喪失の例外）の適用に係る指定学術団体として、

これまで特許出願の際の研究集会の発表証明を行って参りました。

平成23年の特許法の改正により、平成24年4月1日以降の出願に関しては、必ずしも指定学術団体の証明は必要でなく、指定の書式に則った出願人による証明書と客観的証拠資料などの提出で済ませることができるようになりました。特許庁のウェブサイトなどにてご確認ください。

本会からの証明をご希望の方は、下記URLをご参照下さい。

<https://www.chemistry.or.jp/application/certificate/research.html>

2. 発表申込について

(ア) 申込期間

6月2日～7月3日 17時まで

※予定件数に到達次第、受付終了予定時刻より前に受付を終了する場合があります。

(イ) 申込方法

ウェブサイトの申込フォームをご利用いただき、(1)ポスター発表申込と(2)予稿原稿の投稿を行って下さい。(1)と(2)は同時である必要はありませんが、申込期間中に予稿原稿が投稿されていない場合、申込はキャンセルされます。

※フォームが使用できない場合にはお早めに事務局にご相談下さい。締切日以降は対応できませんのでご注意ください。

(ウ) 予稿原稿の作成および提出方法

ウェブサイト上のテンプレートを利用し、予稿原稿をPDFファイルで作成して下さい。発表申込後作成されたマイページよりご提出下さい。提出の際には、発表申込時に発行される受付番号、パスワードが必要となります。

(エ) グラフィカルアブストラクトの作成および提出方法

発表内容の要点を示す図式などを、論文誌のグラフィカルアブストラクトの形式でホームページ上に一覧表示させることで、どのような発表があるか俯瞰できるような場を提供します。ウェブサイト上のテンプレートを利用し、作成の上、指定期間中にご提出下さい。提出の際には、発表申込時に発行される受付番号、パスワードが必要となります。

(オ) 発表申込の取消

発表申込後に発表を取り消すと、プログラム編成に支障をきたします。必ず、発表申込内容に関して指導教員の確認を受けてからお申し込み下さい。理由の如何にかかわらず、申込期間終了後の差し替え、取り消しは認められません。

(力) 発表者の変更

やむを得ず発表者を変更する場合には必ず事務局へお知らせ下さい。変更の対象はプログラムに記載の共著者に限ります。また、変更になった時点でポスター発表賞の審査対象外となります。

(キ) 過去の受賞について

過去にポスター発表賞を受賞していて今回も審査を希望する場合は、過去受賞対象となった発表の予稿を提出いただきます。

3. 登壇料のお支払いについて

ポスター発表を行うにはポスター登壇料のお支払いが必要です。

(ア) ポスター登壇料

区分	登壇料 (課税)
学生会員	7,000 円 (税込)
非会員学生	9,000 円 (税込)

※ポスター発表者は別途参加登録手続き、参加費のお支払いの必要はありません。

※予稿集 (Web) およびプログラム集 (PDF 版) の閲覧が可能です。

※プログラム集 (冊子版) を希望の場合は別途申込が必要です (有償: 2,500 円)。

(イ) お支払い方法

銀行振込、オンラインクレジットカードのいずれかとします。

(ウ) お支払い期限

7 月末日

4. 『博士課程学生オーラルセッション』と『CSJ 化学フェスタ博士オーラル賞』について

ポスター発表をする博士後期課程学生で希望される方に、口頭発表を通して産学官という異なる立場、異分野の学生・研究者と交流する場を提供することを目的として『博士課程学生オーラルセッション』を設けます。

・ポスター発表を行う方に限り、ポスター発表と同じ内容で、口頭発表に申し込むことができます。(口頭発表のみは不可)

万が一、ポスター発表を行わずに口頭発表のみ行った場合は、賞の審査対象外とします。

・発表申込は先着順とし、30 件に達し次第、締め切りとなります。

・同一の研究室からの発表申込は 1 件のみとさせていただきます。

・発表時間は発表 9 分、質疑応答 3 分の計 12 分とします。

・発表者は、少なくとも自身の発表と同じセッションの講演にはすべて出席し、ほかの発表者とのディスカッションに参加することが求められます。

・優秀な発表に対して「CSJ 化学フェスタ博士オーラル賞」が授与されます。同賞は、「研究内容に関する本人のオリジナリティ」、「発表の構成とわかりやすさ」、「今後の展開への期待度」、「質疑応答の的確さ」を基準に産業界とアカデミアの審査員が審査します。

・CSJ 化学フェスタ博士オーラル賞は、将来の博士人材をエンカレッジする趣旨で授与するものであり、この趣旨に鑑み、社会人博士の方は、指導教員の方とよくご相談の上、お申し込み下さい。

・本セッションでの発表では、より広い分野の方にわかりやすい発表を心がけて下さい。

産学官 R&D 紹介企画
募集要項

産学官 R&D 紹介企画では、「R&D 展示ブース」および「ランチタイムセッション (講演)」への参加を募集します。本企画は回を重ねるごとに来場者も増え、年々注目度が増しています。多くの学生と産学官の研究者が全国から集まるこの機を逃さず、ぜひこれらの企画にご参加下さい。企画の趣旨は以下のとおりです。

①企業や国研が学生に向けて「事業や研究開発の概要」、「研究成果・技術・製品」、「キャリアパス」等々の情報を紹介し、学生が進路を考える契機となる場を提供する。

②企業、国研、大学が来場者に「技術や製品の PR」、「研究成果の発表」、「共同研究の提案」等々を行い、様々な連携や交流深耕の契機となる場を提供する。

なお、①における企業と学生の交流に際しては、政府の「就職・採用活動日程に関する考え方」を遵守します。また、②で企業が実施する展示や講演においては、採用活動・営業活動にならないようご留意いただき、説明者・登壇者は人事担当者ではなく技術・研究開発担当者として下さい。

1. R&D 展示ブース

趣旨①あるいは②の内容で展示を行います。来場者は、学生ポスターセッションに参加する学生や産学官で研究開発に携わる方々です。展示に際しては、ポスターだけでなく、製品サンプルの展示、デモンストレーションや動画などもご活用いただけます。

(ア) 日時

10 月 22 日～24 日

※10 時～18 時 (適宜休憩可)

(イ) 会場

展示ホール (1 階) を予定

※学生ポスターセッションと同じ会場ですので、3 日間とも多数の学生が立ち寄ります。

(ウ) 開催形態

展示ブース (H 210 cm×W 180 cm×D 60 cm) を設置

※展示時間は 8 時間/日ですが、説明者の常駐は必須ではありません。搬入・搬出は展示時間の前後 1 時間です。

(エ) 募集数

先着 32 小間

※3 日間通しでの出展とします。「ランチタイムセッション」と併せた参加が効果的です。ぜひご検討下さい。

(オ) 出展料

区分	出展料/1 小間・3 日
企業（法人会員），国研，大学	275,000 円（税込）
企業（法人会員以外）	412,500 円（税込）

※展示ブース 1 小間・1 日あたり説明者 4 名まで、「入場証」（産学官 R&D 紹介企画のみ入場可）を配布します。
※説明者は人事担当者ではなく技術・研究開発担当者として下さい。
※申込後に発行される申込受理通知メールに請求書発行 URL が記載されます。URL から請求書をダウンロードの上、指定口座への振込にて 11 月末までにお支払い下さい。

(カ) 設備

バックパネル 2 枚，机 1 台，椅子 1 脚，社名板，白布，画紙，電源（500 W，アース付きコンセント 2 口）を基本設備として用意します。小間あたり PC 1 台程度の利用を想定しています。

(キ) 小間割

申込順や会場の構成などを勘案して，化学フェスタ実行委員会で小間割を決定します。複数小間で出展の場合は小間をつなげて割当てます。

(ク) 申込方法

「第 15 回 CSJ 化学フェスタ 2025」のウェブサイトよりお申し込み下さい。

(ケ) 申込期間

6 月 2 日～7 月 3 日 17 時まで

(コ) キャンセルポリシー

申込後のキャンセルにつきましてはご返金ができません。あらかじめご了承ください。

2. ランチタイムセッション（講演）

趣旨①あるいは②の内容で，昼食付の講演を行います。聴衆は学生および産学官で研究開発に携わる方々です。写真や動画を活用し，失敗・挫折・苦労のエピソードを盛り込むなど，「これがうちの面白いところ」，「この技術は世界でうちが一番」といったユニークな話や自慢話などバラエティーに富んだ内容で参加機関の特徴をアピールして下さい。参加機関名を冠した「〇〇ランチタイムセッション」としてプログラムやウェブサイトに掲載，周知して集客を確保します。

(ア) 日時

10 月 22 日～24 日

※12 時 15 分～13 時 05 分

(イ) 会場

約 60 名の会場を予定

(ウ) 開催形態

時間内の構成は参加機関で自由に設定

※講演の前後に入退場や片付けの時間を確保して下さい。

※昼食手配，入場受付，昼食配布，片付けは事務局で対応します。

(エ) 募集数

12 件（先着 4 件/1 日）を予定

※「R&D 展示」と併せた参加が効果的です。ぜひご検討下さい。

(オ) 参加料

区分	参加料/1 件
企業（法人会員），国研，大学	330,000 円（税込）
企業（法人会員以外）	495,000 円（税込）

※昼食代金は参加料に含まれます。

※登壇者 2 名までは，CSJ 化学フェスタ参加費が無料です。

※登壇者は人事担当者ではなく技術・研究開発担当者として下さい。

※申込後に発行される申込受理通知メールに請求書発行 URL が記載されます。URL から請求書をダウンロードの上，指定口座への振込にて 11 月末までにお支払い下さい。

「R&D 展示」と「ランチタイムセッション」の両方に参加する場合は以下のセット割引料金になります。

区分	セット参加料/1 件
企業（法人会員），国研，大学	550,000 円（税込）
企業（法人会員以外）	825,000 円（税込）

(カ) プログラム

希望日は指定できますが，最終的には化学フェスタ実行委員会にご一任下さい。

(キ) 講演機材

会場にはプロジェクター，スクリーン，レーザーポインタ，マイク，ディスプレイケーブル（HDMI）を用意します。PC は講演者自身で用意して下さい。

(ク) 申込方法

「第 15 回 CSJ 化学フェスタ 2025」のウェブサイトよりお申し込み下さい。

(ケ) 申込期間

6 月 2 日～7 月 3 日 17 時まで

(コ) キャンセルポリシー

申込後のキャンセルにつきましてはご返金ができません。あらかじめご了承ください。

広告募集要項

プログラム集（PDF 版/冊子版）の広告およびホームページバナーの広告を募集します。この機会にぜひ広告をご活用いただきますようお願い申し上げます。詳細はウェブサイトをご覧ください。

(ア) 掲載料金

①プログラム集：11 万円～22 万円（税込）

②ホームページバナー：11 万円（税込）

(イ) 申込・原稿データ締切日

申込締切：8 月 25 日

原稿締切：8 月 29 日

(ウ) 申込・問合せ先

株式会社明報社 後藤

電話 (03) 3546-1337

E-mail: info@meihosha.co.jp

株式会社スプラウト 分須

電話 (03) 4500-9500

E-mail: info@sprout.jp

参加登録のご案内

CSJ 化学フェスタで実施する企画へ参加される方には参加費の有料/無料にかかわらず参加登録をお願いいたします。ウェブサイトよりお申し込み下さい。なお、学生ポスターの発表者の方は別途登壇料をお支払いいただいておりますので参加登録の必要はありません。

日本化学会の責によらない天変地異や交通機関の乱れ、事件・事故などによりやむを得ず開催が中止された場合でも、予稿集の発行をもって開催されたものとみなし、参加登録費・ポスター登壇料を返還できない場合があります。あらかじめご承知おき下さい。

1. フェスタ企画へ参加の方

1. 申込期間

早期申込：8月1日～9月11日

通常申込：10月1日～会期当日

2. 申込方法

ウェブサイトの参加申込フォームからお申し込み下さい。

3. 参加登録費

参加区分	早期申込	通常申込
正会員*1	18,000円(税込)	21,000円(税込)
非会員	30,000円(税込)	33,000円(税込)
学生会員	6,000円(税込)	8,000円(税込)

非会員学生	8,000円(税込)	9,000円(税込)
ポスター審査員*2	14,000円(税込)	14,000円(税込)
プログラム集(冊子版)*3	2,500円(税込)	購入不可

*1…個人正会員・教育会員・シニア会員・法人正会員
企業に所属する方が対象です。

*2…ポスター審査を行い、有料企画へ参加される場合の参加登録費。ポスター審査のみの場合、参加登録は不要です。

*3…早期申込期間のみ購入が可能です。

4. お支払い方法

早期申込	通常申込
オンラインクレジットカード、銀行振込、請求書払い	オンラインクレジットカードのみ

※早期申込の支払い締切は9月16日です。締切までに入金を確認できなかった場合、自動キャンセルとなりますのでご注意ください。

5. 領収書の発行

入金受理通知メールにてご案内します。

2. 公開企画へ参加の方

ウェブサイトの参加申込フォームからお申し込み下さい。登録完了後に受理通知メールが届きます。参加方法は、受理通知メールをご確認下さい。

第105春季年会(2025)「学生講演賞」の表彰

第105春季年会実行委員会委員長

本会では若手研究者が各自の研究をまとめた形で発表することによって、その研究のより一層の進展と活性化をはかることを目的として、第83春季年会(2003)から、従来の講演「A講演」(講演7分、討論3分)に加え、「B講演」(講演15分、討論5分)を設けております。B講演の発表資格は「正会員または大学院博士(後期)課程に在籍する学生会員」で、このうち優れた研究発表には「学生講演賞」を授与し、本会会長名で表彰してきました。「学生講演賞」は発表内容、プレゼンテーション、質疑応答などにおいて優れた講演で、講演者の今後の一層の研究活動発展の可能性を有すると期待されるものに対して贈呈するものです。

今年度の第105春季年会は去る3月26日から29日までの4日間、関西大学 千里山キャンパスにて現地で開催され、「学生講演賞」は対象のB講演263件の中から86件が選考されました。選考は次のようにして行いました。①当該部門のプログラム部門幹事または編成委員、②プログラム編成委員より推薦された正会員、③講演座長の3名が該当講演を聴講し、採点表をもとに審査しました。その結果をもとに実行委員会(2025年4月18日開催)で選考し、決定しました。受賞者は以下のとおりです。受賞者にはその栄誉をたたえ、さらに一層の研鑽を積まれますことを期待して、受賞者の所属機関宛に送付する予定です。

「日本化学会第105春季年会(2025)学生講演賞」受賞者一覧

【物理化学関係】

(理論化学・情報化学・計算化学、

物理化学、分析化学、コロイド・界面化学)

[C]C204-2vn-03 AFM-IRによるベンゾポルフィリン前駆体薄膜の熱転化反応のナノ構造解析(京大化研)岡 昂 徹 氏

[C]C303-2vn-02 Synthesis of Titanium Nitride Semiconductor Nanocrystals(北大院環境)Aswathi Maladan 氏

[C]C304-1am-05 $\kappa^{\prime}$ -(ET)₂Cu[N(CN)₂]Brにおける陰イオン層のディスオーダーによる電子局在(京大院理)矢坂聡一郎 氏

[C]C401-4am-04 成長方向が振動するケミカルガーデン(広大院統合生命)久保寺裕進 氏

[C]C506-2am-01 両親媒性ランダム共重合体ミセルの多成分系セルフソーティング：動的かつ選択的な会合の制御(京大院工)菅野陸童 氏

- [C] C506-3pm-02 MOFのナノ細孔による高分子鎖上のモノマー変異識別 (東大院工) 鈴木晴陽 氏
- [C] C506-3pm-03 3次元走査型原子間力顕微鏡による分子ナノポケット近傍の特徴的な相互作用力分布の可視化 (金沢大院自然) 小笠原 萌 氏

【無機化学関係】

(無機化学, 錯体化学, 有機金属化学)

- [B] A301-1pm-01 ベンゾイミダゾリルメチル基が導入されたNHC配位子をもつジカチオン性ニッケル(II)錯体が有機溶媒蒸気により示すベイクロミック挙動 (弘大院理工) 村上辰成 氏
- [B] A301-1pm-04 Self-Assembled Nickel Catalysts from Simple Building Blocks For Trifluoromethylation and High Oxidation State Stabilization (沖縄科技大) Aleksandr Sorvanov 氏
- [B] A301-3am-02 水からの水素生成を高速駆動するCo-NHC錯体のグラッシーカーボン電極上における電極触媒挙動 (九大院理) 菅 昌権 氏
- [B] A301-4am-04 Magnetic Interplay in Spin-intercalated Hybrid Layered Magnets (東北大院理) Qingxin Liu 氏
- [B] A301-4am-07 環状鉄ビスシリル骨格を基軸とする脱酸素反応 (東大院工) 菅 雄翔 氏
- [B] A307-3am-06 R-dpa三座配位子の銅(II)錯体によるH₂O₂活性化: 配位子構造によるH₂O₂活性化と活性種の制御 (同志社大院理工) 藤川恭祐 氏
- [B] A307-4am-03 Water-Mediated Selectivity Modulation and Steric Regulation of Activity in Photochemical CO₂ Reduction Catalyzed by RhCp*(bpy) Complexes (九大院理) Dongseob Lee 氏
- [B] A307-4am-06 五配位Mn^{II}錯体が示すマグネトルミネッセンス (阪大院基礎工) 樋川岳真 氏
- [B] A501-1pm-04 フェナレニル型配位子を有するガリウム錯体上での酸化的環化, 挿入および還元的脱離 (阪大院工) 向井虹渡 氏
- [B] A501-1pm-05 Sm/SmI₂を用いたジクロロシランと1,3-ジエンの環化付加反応 (京大院工) Chen Zhengwei 氏
- [B] A503-3am-05 Design Rules for Emissive and Electrochemically Stable Silver(I) Complexes for Light-Emitting Electrochemical Cells (ミュンヘン工科大) Sophia Lipinski 氏
- [C] C304-2vn-03 X線分光と第一原理計算による多元素合金触媒の電子構造-物性相関の定量評価 (京大院理) 中村雅史 氏
- [C] C304-3pm-03 内包イオンの交換による環状ポリオキソメタレートP8W₄₈O₁₈₄の誘電物性 (広大院先進理工) 竹本悠真 氏
- [C] C304-3pm-06 合金ナノクラスターを持つポリオキソメタレートを用いた高効率CO₂電解 (東大院工) 川上公威 氏
- [C] C304-3pm-07 環状ポリオキソメタレート配位子による銀ナノクラスターのサイズ制御 (東大院工) 屋内大輝 氏

- [C] C304-4pm-04 欠損型ポリオキソメタレートを用いたボルフィリンダイマーの構造設計と光触媒特性 (東大院工) 山口正浩 氏

【有機化学関係】

(有機化学, 天然物化学・ケミカルバイオロジー)

- [A] A305-1pm-03 Late-stage ホウ素媒介アグリコン転移反応を利用した肺非結核性抗酸菌症に対する新規抗菌物質の創製 (慶大院理工) 磯崎友花 氏
- [A] A305-1pm-04 Elucidation of novel glycan functions that promote an α -helix formation of peptides (阪大院理) Intan Hawina Anjari 氏
- [A] A305-1pm-07 翻訳後化学酵素修飾とmRNAディスプレイ法によるチアゾール含有環状ペプチドリガンドの創製 (京大院理) 齊藤瑛大 氏
- [A] A305-2pm-03 巨大ウイルスから発見した新しいタイプのテルペン合成酵素 (東大院工) 朴 治彦 氏
- [A] A305-2pm-05 Manginoid Dの全合成 (東農大院生命科学) 加藤光輝 氏
- [A] A305-2pm-06 Development of Aldehyde-Forming Nef Reaction Initiated by Singlet Oxygen under Mild Conditions (北大院環境) SARI IRANOVITA 氏
- [A] A404-2pm-02 新規擬天然ペプチドリガンドの開発に向けたプレニル化チオペプチドライブラリーの構築 (京大院理) 内田創太 氏
- [A] A404-2pm-04 分子内アザ電子環状反応を利用したがん細胞内での天然物誘導体の合成研究と機能発現 (科学大院物質理工) 寺島一輝 氏
- [F] 2101-1pm-04 ロジウム触媒を用いた[2+2+2]付加環化反応による軸不斉ジアリールエーテルの不斉合成 (科学大院物質理工) 佐藤 悠 氏
- [F] 2101-3am-03 クロロシリルホウ素アート錯体から発生させたシリレノイド種の研究 (北大院総化) 高橋陸朗 氏
- [F] 2101-3am-06 ルイス酸性弱配位アニオンの触媒応用 (東大院工) 萬代 遼 氏
- [F] 2102-1pm-04 ニッケル触媒を用いた芳香族スルホン類のクロスカップリング反応 (名大院理) 大蔵電盛 氏
- [F] 2102-1pm-06 平面四配位ニッケル(0)錯体における単座ボラン配位子 (阪大院工) 水取有敬 氏
- [F] 2105-1pm-04 コレステロール誘導体からなる階層性超分子プラスチック (京大院工) 鄭 家昕 氏
- [F] 2105-4pm-03 熱安定な分子スイッチによる固体-液体の光転移 (広大院先進理工) 兼田直輝 氏
- [F] 2106-1pm-03 Versatile Protein Encapsulation in Crystals of Spherical Coordination Cages (東大院工) Hongkun Liu 氏
- [F] 2106-2pm-04 ホスト・ゲスト錯体のCH- π 相互作用ネットワークが形づくる劈開可能な二次元ハニカム結晶 (東大院理) 小谷祐希 氏
- [F] 2106-2pm-05 プロペラ型分子からなる剥離可能な二次元キンヒドロ型複合体の合成, 構造および性質 (科学大院物質理工) 敦賀柊太 氏

- [F] 2201-3am-02 4 配位 13 族元素錯体の光転位反応とフォトクロミック発光 (京大院工) 青山侑冬 氏
- [F] 2201-3am-03 [7]ヘリセンを導入した *o*-カルボラン誘導体における円偏光二重発光特性 (京大院工) 油原利公 氏
- [F] 2203-3am-04 Nanodiamond synthesis mediated by electron irradiation through C-H couplings of adamantane (東大院理) Jiarui FU 氏
- [F] 2301-2am-02 紫外光・可視光触媒を用いた芳香族化合物へのペルフルオロアルキレン基の導入法の開発 (お茶大院理) 山口愛織 氏
- [F] 2302-2am-01 重金属フリーなフォトン・アップコンバージョンナノ粒子を用いた生体内オプトジェネティクス (九大院工) 宇治雅記 氏
- [F] 2302-2am-04 π 共役系分子を置換したアニオン性ホウ素クラスターの発光機能制御 (京大院工) 柳原拓海 氏
- [F] 2302-3vn-01 直接的な電極電子移動に基づくポリフルオレンのホスホニル化反応 (科学大院物質理工) 谷口晃平 氏
- [F] 2302-3vn-03 水素結合複合体の電解酸化によるスルホンアミジルラジカル発生を経るスルタムの合成 (岡山大院自然) 奥村恭之 氏
- [F] 2303-1vn-01 鉄触媒を用いた C-H 環化によるアルキニルアザレンの合成 (東大院理) 張 岩 氏
- [F] 2303-1vn-02 ピラゾール誘導体を開始剤とするアラインの重合と分岐ポリマー合成への応用 (阪大院工) 山村志悟 氏
- [F] 2304-1vn-03 アンモニアまたは第一級アミンを用いたアミノベンズオードキソロンの合成とアリールボロン酸の酸化的アミノ化への活用 (阪大院工) 川中一輝 氏
- [F] 2304-3am-01 ホウ素架橋ヘキサゼンの誘導体化 (科学大院理) 山本真洋 氏
- [F] 2304-3am-04 Al 架橋反転 Ge 間二重結合化合物の合成とその性質 (京大化研) 任 喆 氏
- [F] 2401-2pm-05 窒素およびリンドーパドカーボン担持白金触媒によるニトロ化合物とアルデヒドを用いるニトロロンへの選択還元的カップリング反応 (東大院理) 千崎大誠 氏
- [F] 2401-3pm-05 PET の低温解重合とタミバロテンの連続フロー合成によるケミカルアップサイクルの実証 (東大院理) 川瀬智也 氏
- [F] 2402-2pm-03 エナンチオ選択的カルボニル-エン環化反応に有効な Lewis 酸複合型キラル Brønsted 酸触媒の合理的設計 (名大院工) HUANG Jianhao 氏
- [F] 2402-3pm-01 ジルコセン/可視光レドックス触媒を用いた C-O 結合および C-F 結合開裂反応 (早大院先進理工) 会田和広 氏
- [F] 2402-3pm-02 イミダゾリウム垂ホスホン酸エステルを活用した五価アルキルリン化合物の合成 (京大化研) 太田健治 氏
- [F] 2402-3pm-03 キラルプレンステッド酸触媒を用いた不斉アリル化反応を鍵とする Bastimolide A の全合成 (東北大院理) 品川尚弥 氏

- [F] 2403-2pm-03 α -アンモニオラジカルを鍵活性種とする第 4 級アンモニウム塩の変換 (関西学院大院理工) 木之下拓海 氏

- [F] 2403-2pm-05 塩基アシスト型光酸化還元触媒/コバルト触媒協働系による DAT を起点とした不活性アルケンの還元的多重水素化反応 (北大院薬) 鈴木晶彦 氏

【生体関連化学関係】

(生体機能関連化学・バイオテクノロジー)

- [A] A301-1pm-05 ヘテロキラルオリゴ N メチルアラニンを足場としたタンパク質リガンドの設計 (東大院工) 横峰真琳 氏
- [A] A301-2vn-03 中空金属錯体の孤立空間への閉じ込めによる安定二量体タンパク質のモノマー単離 (東大院工) 海老原梨沙 氏
- [A] A303-1pm-04 複数組の parallel 型 PNA を用いたインベージョン複合体の形成 (名大院理) 望月直哉 氏
- [A] A303-4pm-03 光増感色素とタンパク質を組み合わせた人工フォトレドックス酵素による光誘起イミン還元反応 (阪大院工) 加納龍成 氏
- [A] A304-1pm-02 固相合成法を用いた脂肪酸代謝物 17,18-EpETE の構造活性相関研究と機能性類縁体の開発 (東大院工) 秋田真悠子 氏
- [A] A304-1pm-06 光制御と数値モデルを用いた Akt アイソフォーム活性化の時間特性に基づく選択的な細胞内シグナル伝達制御の定量的解明 (東大院理) 関根由佳 氏
- [A] D401-1am-01 RNA hacking 技術の汎用性拡大を志向した G supply Staple oligomers の開発 (熊大院自然科学教育) 木田朋輝 氏
- [A] D401-1am-02 遺伝子発現増加を可能とする RNA hacking の応用 (熊大院先端科学研究) 長谷川結愛 氏
- [A] D401-1vn-01 蛍光チミジン類似体によるグアニン四重鎖の検出と応用 (京大院理) 熊谷智孝 氏
- [A] D401-4am-05 β -ガラクトシダーゼにより活性化される鎖状および環状プロドラッグ型アンチセンス核酸の合成と二重鎖形成阻害効果 (科学大院生命理工) 宮地健人 氏
- [A] D501-1am-04 合理的に設計された超偏極 MRI 分子プローブによる生体内ジペプチジルペプチダーゼ-4 活性の検出 (東大院工) 後藤彰仁 氏
- [A] D501-1am-06 細胞内液滴形成の制御のための光化学遺伝学技術の開発 (東北大多元研) Muhammad Wildan Saifudin 氏
- [A] D501-1vn-03 液-液相分離を標的とした触媒的光酸化によるタウ凝集過程への早期介入 (東大院薬) 渥美涉 氏
- [A] D501-4am-06 分子認識に基づいて細胞内障壁突破機能を賦与した遺伝子キャリア (東大生研) 松本 彬 氏
- [A] D501-4am-07 合成系ヘムタンパク質モデル錯体と一酸化窒素との水中における錯形成および還元的ニトロシル化反応に対する反応性の検討 (同志社大院理工) 中上敦貴 氏

【材料化学関係】
(高分子, 材料化学)

- [F] 2404-1pm-01 MOF ナノ細孔からのAFM フィッシングによる高分子一本鎖構造解析 (東大院工) 河野悠生 氏
- [F] 2404-4pm-05 ビニルポロン酸誘導体の立体特異的ラジカル重合による立体規則性 PVA の自在合成 (京大院工) 鈴木宏史 氏
- [F] 2501-1pm-04 分解可能な新規親水性高分子 *N*-メチル化ナイロンライブラリ (北大院理) 菅野明梨 氏
- [F] 2501-1pm-05 ピレニルケイ素架橋における C-Si 結合開裂に基づく光・酸協働反応性ポリマーネットワーク材料の開発 (東大院総合文化) 川野勇太郎 氏
- [F] 2501-2pm-04 設計可能なセロオリゴ糖集合体を固相担体として用いる抗 PEG 抗体アッセイ (科学大院物質理工) 杉浦 開 氏

[G] 3401-2pm-02 空間選択的光重合過程における液晶性ブロック共重合体の分子配向とナノ構造形成 (科学大院物質理工) 高橋海采 氏

[G] 3401-2pm-03 マルチスケール疲労計測による高分子フィルムの湾曲破壊プロセスの可視化 (科学大院物質理工) 岸本勇勝 氏

【エネルギー関係ほか】

(触媒, エネルギーとその関連化学, 地球・宇宙化学, 資源利用化学・環境・グリーンケミストリー)

[C] C404-3am-04 高活性・高耐久酸素還元反応特性を有する白金-ガドリニウム合金ナノ粒子電極触媒の調製 (名大院理) 森山拓海 氏

[C] C404-3am-07 カーボン担持 $\text{Au}_n(\text{SC}_2\text{H}_4\text{Ph})_m$ ($n=25, 144, 329$) 触媒: β -アミノケトンの脱水素反応におけるサイズ効果の評価 (東大院理) 坂本光翼 氏

第 105 春季年会「イノベーション共創講演賞」表彰

産学交流委員会

日本化学会産学交流委員会では、1996 年度開催の第 72 春季年会から若い世代の講演発表者の研究活動の奨励を目的として「講演奨励賞」を、2008 年度からは「優秀講演賞 (産業)」と改称して講演発表者を顕彰してきました。2012 年度からは、対象をアドバンス・テクノロジー・プログラム (ATP) で実施される ATP ポスター (2020 年度からイノベーション共創プログラム (CIP) ポスター) に限定して、審査・選考、表彰を行ってまいりました。今年度からは「イノベーション共創講演賞」に名称を変更し、第 105 春季年会にて審査・選考を行いました。

この「イノベーション共創講演賞」は、「産業に対する寄与が期待される基礎的または応用的な概念、アイデア、実験手法、実験結果などについての発表であり、発表者の研究に対する主体性や貢献度が優れ、かつ今後の研究活動の一層の発展の可能性を有すると期待されるもの」に対して会長名で表彰するものです。

3 月 26 日 (水)~29 日 (土) に関西大学千里山キャンパスにて開催された第 105 春季年会では、審査希望のあった研究者の講演を対象に産業界の審査員が審査しました (今年度より年齢制限を廃止)。CIP 企画小委員会および産学交流委員会による厳正な選考の結果、申請のあった 63 件の中から今年度の受賞者として下記の 3 名が選出されました。高い評価を得て表彰に値すると選考された受賞者には、その栄誉をたたえ、さらに一層の研鑽を積まれますことを期待して、所属機関長を経由して表彰状をお届けしました。

イノベーション共創講演賞 受賞者一覧

【新素材・材料】

- ・安藤 翔太 (東京大学 大学院新領域創成科学研究科・特任助教)
[PB]-1vn-43 「航空機用炭素繊維複合材料への応用を志向した高耐久性・リサイクル性・再生形成を持つ資源循環型ポリロタキサン配合エポキシ樹脂の開発」
- ・小林 裕一郎 (大阪大学 大学院理学研究科・助教)
[PB]-1vn-32 「廃棄硫黄を用いた高機能ポリマー材料の創製」

【医療・ヘルスケア・バイオテクノロジー】

- ・森屋 亮平 (北里大学 理学部・講師)
[PB]-1vn-54 「生物発光イメージングの高感度化を実現する高輝度生物発光基質 AkaSuke の開発」

北海道支部支部長賞受賞者

北海道支部

北海道支部では支部活性化と化学の奨励を目的に、平成 3 年より北海道内高専生の成績優秀者を対象に「支部賞」、平成 15 年度より支部で活躍する若手研究者の研究活動を奨励するための「日本化学会北海道支部研究奨励賞」と北海道内の高校生化学系クラブ活動を奨励するための「日本化学会北海道支部研究奨励賞 (高校生活動の部)」, また平成 18 年度より支部研究発表会にて優秀な発表を行った日本化学会学生会員を対象に「北海道支部優秀講演賞・優秀ポスター賞」の計 4 賞を制定し、毎年顕彰しております。さらに平成 20 年度より「化学グランプリ北海道支部長賞」を制定し、全国化

学グランプリにおいて優秀な成績を修めた北海道内の参加者を対象に顕彰しております。

このたびは上記5賞について、2024年度受賞者が以下の方々および団体に決定したことをお知らせします。

■北海道支部奨励賞（支部若手研究者）

芦刈洋祐（北大院理）、高橋仁徳（北大電子研）

■北海道支部研究奨励賞（高校生活動の部）（北海道内高校化学系クラブ）

北海道旭川東高等学校化学部、北海道函館中部高等学校科学部

■北海道支部賞（北海道内高専生）

河村風花（旭川高専）、本間陽菜（苫小牧高専）、皆口将大（函館高専）

■北海道支部優秀講演賞（日本化学会学生会員）

伊部光太郎（北大院総化）、米澤毅治（北大院総化）、三輪俊揮（北大院総化）、福澤大和（北大院総化）、岩崎 凜（北大院総化）

■化学グランプリ北海道支部長賞（北海道内中高高校生）

木村颯翔（北海道北見北斗高等学校）、横島歩夢（北嶺高等学校）、吉田有慶（立命館慶祥高等学校）

（敬称略・順不同）

東北支部支部長賞受賞者

東北支部

東北支部では、支部の活性化と化学奨励を目的として、工業高等専門学校化学系の学生および工業高校、高等学校理数系学科の生徒を対象に、各年度卒業時において人物および学業成績が優秀な方に対し、支部長賞を授与しております。

このたび、令和6年度の受賞者として下記の方々を選出し授与いたしました。ここに受賞者の栄誉を讃え、その氏名（学校名）をご報告いたします。

また、東北支部では、化学教育の裾野拡大と化学者の養成とを企図して日本化学会主催で開催される化学グランプリ事業について、参加した生徒のさらなる研鑽を期待し、東北地区の化学グランプリにおいて優れた成績を収めた下記の生徒10名の栄誉を讃え、東北支部表彰を授与いたしました。

■令和6年度東北支部支部長賞受賞者

阿部範仁（大館鳳鳴高）、石川里桜（秋田工業高）、佐々木奨真（由利工業高）、柴田純平（能代高）、小原大輝（黒沢尻工業高）、伊藤美羽（盛岡工業高）、鈴木埜亜（水沢高）、山本開斗（山形東高）、磯野凜太籬（酒田光陵高）、上野徠斗（鶴岡工業高）、高村一樹（山形工業高）、梅津一徳（米沢工業高）、松田敏弥（米沢興譲館高）、佐藤陽太（宮城県工業高）、渡邊 雅（古川工業高）、森田徠星（石巻工業高）、我妻陽桜里（白石工業高）、阿部汐莉（郡山北工業高）、鈴木里奈（会津工業高）、佐藤榛芳（小高産業技術高）、古賀瑛士（白河高）、吉田咲弥（須賀川桐陽高）、高野はるな（福

島工業高）、村上桧斗（勿来工業高）、赤田健介（八戸高専）、木戸毬乃（秋田高専）、畠山佳子（一関高専）、遠藤優斗（鶴岡高専）、高橋和輝（仙台高専）、蛭田帆香（福島高専）

〔以上30名〕

■令和6年度化学グランプリ東北支部表彰者

岩本理生（聖ウルスラ学院英智高）、中田朝陽（弘前高）、坂戸 優（弘前高）、安田龍之介（青森高）、高橋侑太郎（青森高）、牧野祐仁（秋田高）、上浦英樹（米沢興譲館高）、駒場優吾（福島高）、菅野 悠（福島高）、神植大生（福島高）

〔以上10名〕

（敬称略）

関東支部支部長賞受賞者

関東支部

当支部では、支部活性化と化学奨励を目的として、関東支部長賞および化学グランプリ関東支部長賞・関東支部奨励賞を制定しております。関東支部長賞の授賞対象は、工業高等専門学校において学業を修め、人物および成績が優秀と認められる生徒、化学グランプリ関東支部長賞・支部奨励賞の授賞対象は化学グランプリの成績優秀者です。

このたび2024年度受賞者として下記の方々を選出し、関東支部長賞ならびに化学グランプリ関東支部長賞・支部奨励賞を授与いたしました。ここに受賞者の栄誉を讃え、ご報告いたします。

■第27回（2024年度）関東支部長賞

水口翔馬（茨城高専）、小林希安（長岡高専）、川村 周（東京高専）、土屋頼生（群馬高専）、平林大輝（小山高専）

〔以上5校5名〕

■2024年度化学グランプリ関東支部長賞

井戸沼悠成（筑波大附属駒場高）、伊藤恵仁（小石川中等）、早田 茂（三田国際）、藤原秀真（聖光学院）、畔上真治（茨

谷教育学園幕張）、高橋洋翔（開成）、井上幸弥（甲府南）、森 圭都（女子学院）、猪内孔盟（県立中央中等）、曾我部齐（横浜翠嵐）、大泉諒平（浅野）、高橋駿太（横浜サイエンスフロンティア）、渡邊 直（聖光学院）、種村舞衣香（豊島岡女子）、叶野汐梨（渋谷教育学園幕張）、岡田佑一（麻布）、姜 尚志（筑波大付）、鬼頭幸市（私立武蔵）、蛇川友輝（県立船橋）、宇杉悠志（開成）、阪井愛理（駿台甲府）、

鈴木朝日（昭和学院秀英），冀 思暢（小石川中等），富田哲志（芝），田嶋奏太（聖光学院），齋藤 輝（市川），志賀奏汰（栄東），高橋朋樹（麻布），森田泰央（聖光学院），後藤太耀（桜修館中等）（以上 30 名）

■2024 度化学グランプリ関東支部奨励賞

榎澤律己（聖光学院），長田舞波（洗足学園），入山煌翔（渋谷教育学園幕張），藤山泰地（聖光学院），齊藤彩生（豊島岡女子），古源健人（聖光学院），小野原沙来（昌平），白井大士（都立西），栗原峻人（私立武蔵），岩本和啓（厚木），大塚健太郎（筑波大学附属駒場），久保田慎之介（九段中等），草鹿美雪（栄東），田代拓生（桜修館中等），山下圭太（筑波大学附），大関倅平（並木中等），齋藤功瑛（横浜サイエンスフロンティア），番匠優希（渋谷教育学園渋谷），有

村陽大（市川），小日向律樹（聖光学院），島田皓慈（栄東），野中亮汰（筑波大学附属駒場），北岡潤也（麻布），尾関大河（サレジオ学院），畔上真歩（渋谷教育学園幕張），渥美柚香（学習院女子），田口まり紗（渋谷教育学園幕張中），勝野諒大（大宮），山田悠花（越谷北），田中智啓（麻布），藤倉崇成（海城中），川田祐生（渋谷教育学園幕張），垣花昌旦（学習院），遠藤洸樹（甲府南），山本竜誠（昭和学院秀英），藤村颯汰（大宮），木村龍之介（筑波大学附），山元拓真（太田），有井一真（甲陵），野澤凱人（甲府南），北森晴翔（甲府南），新毛創太（並木中等），内野耕汰（並木中等），室井一真（大田原），佐久間 和（大田原），佐々木啓道（大田原），猪瀬真央（小山工業），松本隼太郎（大田原），宮越陸人（県立高田），山田優空（県立高田）（以上 50 名）

東海支部支部長賞受賞者

東海支部

東海支部では、支部活性化と化学奨励を目的として化学系の大学、大学院および工業高等専門学校卒業生・修了生を対象に人物および学業成績が優秀なものに対し支部長賞を授与しています。また、平成 19 年度から日本化学会主催の化学グランプリにおいて優れた成績を修めた生徒に対して支部長賞を授与しています。

このたび、2024 度の受賞者として下記の方々を選出し、支部長賞を授与いたしましたのでここに受賞者の栄誉を讃え、その氏名（学校名）をご報告いたします。

■東海支部長賞（大学・大学院）

辻 佳樹（中部大学工），樋口慶汰（中部大学工），上野康志郎（中部大学工），池田琉稀（中部大院工），落合奎介（総研大物理），小畑侑世（信州大理），吉田全慶（信州大院理），小坂峻史（信州大学院総合理工），齋木凌拳（岐阜大工），藤井流輝斗（岐阜大工），松本太一（岐阜大工），岡田和真（岐阜大院自然科技），長屋直秀（岐阜大院自然科技），杉浦花歩（岐阜大院自然科技），辻 愛梨（岐阜大工），子安健裕（岐阜大工），小出明日香（岐阜大工），奈良崎千穂（岐阜大院自然科技），澤畑凌雅（岐阜大院自然科技），鈴木悠馬（静岡大理），久永虎徹（静岡大理），岡田拓己（静岡大院総合科技），小池裕太（信大院繊維），陶山照瑛（名大理），後藤直生（名大理），藤田宏貴（名大院理），林 まなみ（名大院理），中村敏規（名工大院工），根本真衣（名工大院工），村田裕祐（名工大院工），宮崎友輝（名工大院工），王 笑桐（名工大院工），池戸一将（名工大院工），牧野圭祐（名工大院工），杉本しおん（名工大工），岡島さゆり（名工大工），渡邊健人（名工大工），石原旺亮（名工大工），木村将大（名工大工），山崎翔瑛（名工大工），坂口 慶（名工大工），早川真太郎（名工大工），寺島颯人（名工大工），中根青空（名工大工），大橋かえで（名工大工），小山 翼（名工大院工），朝倉行秀（信州大院工），武富由佳（信州大院工），山本深斗（信州大院工），倉知汰貴（信州大工），町田愛珠（信州大工），宮下華奈（信州大工），小林 仁（静岡大工，CA），高橋怜央（静岡大工，CA），中澤 優（静岡大工，CA），森下未夢（静岡大工，CB），豊田剛亮（静岡大工，CB），平川明香里（静岡大工，CB），上田あすか（静

岡大院総合化学バイオ），近藤 雪（静岡大院総合化学バイオ），松根康樹（静岡大院総合化学バイオ），板倉利樹（三重大工），岡本 諭（三重大工），今西 陸（三重大工），渡部至玄（三重大院工），大森史也（三重大院工），藤田純佳（三重大院工），栗林武流（愛工大工），樋口泰聖（愛工大工），勝田 采（愛工大工），戸谷円香（愛工大工），三原一輝（愛工大工），森内奏羽（愛工大工），佐伯銀河（愛工大工），飯塚恒太（信大繊維），菅野雅彌（信大繊維），早川純礼（信大繊維），黒田真紀（豊橋技科大工），小林晃志朗（豊橋技科大工），道平尚樹（豊橋技科大工），寺岡爽斗（豊橋技科大院工），濱田 舞（豊橋技科大院工），谷本龍平（信大院繊維），小川大輔（信大院繊維），樋口萌花（名大工），宇佐見陽毅（名大工），森川桂伍（名大工），安藤大雅（名大院工），森野高晴（名大院工），島田将成（名大院工），高木 恋（名大院工），井上 始（名大院工），坂下清佳（名大院工）（以上 93 名）

■東海支部長賞（工業高专）

片岡夕楽（沼津高专），田野上由唯（鈴鹿高专），堂本泰晴（鈴鹿高专）（以上 3 名）

■化学グランプリ東海支部長賞

池田隼啓（岡崎高），稲葉太一（海陽中等），越智遼太郎（東海高），影山裕高（東海高），久保田悠暉（滝高），近藤匠将（東海高），佐藤天哉（磐田南高），須江一樺（長野高），鈴木 葵（名古屋高），鳥山 雫（滝高），松浦浩希（松本深志高），村瀬公規（東海高），村瀬友規（東海中），山下陽生（海陽中等）（以上 14 名）

（敬称略・順不同）

近畿支部支部長賞受賞者

近畿支部

近畿支部では、支部の活性化と化学奨励を目的として、工業高等専門学校において学業成績が優秀な方に対し、支部長賞を授与しております。このたび、受賞者として下記方々を選出し授与いたしました。また平成 28 年度より化学グランプリにおいて優れた成績を修めた生徒に対し支部長賞を授与しております。ここに受賞者の栄誉を讃え、ご報告いたします。

■2025 年度（第 27 回）近畿支部支部長賞受賞者

池田葵衣（福井高専）、岩本尚平（大阪公立大高専）、上垣菜春（奈良高専）、阪本琉樹（和歌山高専）、佐原佑布子（和歌山高専）、澤田雅希（大阪公立大高専）、高澤優花（福井高専）、寺田歩生（奈良高専）、原田拓実（神戸市立高専）、山内萌瑛（神戸市立高専）、山屋結佳（富山高専）、若林歩実（富山高専）

■化学グランプリ 2024 年 近畿支部支部長賞受賞者

青木康太朗（金沢大附属）、東 彦宏（灘）、足立光彬（大阪星光学院）、荒井日南子（金沢泉丘）、乾 陽恭（白陵）、宇梶 聡（金沢大附属）、大塚丈雅（富田林）、岡添皇樹（灘）、小川璃久（灘）、長 純平（灘中）、加藤暢啓（洛北）、亀山凜誠（灘）、久野 楓（洛北）、窪田成剛（金沢泉丘）、小坂井 嶺（金沢大附属）、近藤佑一（大阪星光学院）、齋藤遙花（白陵）、五月女雅希（白陵）、佐野友哉（洛南）、澤西良奈（四天王寺）、柴田彩音（白陵）、白井菜々心（天王寺）、祖父江 葵（洛南）、竹田直哉（天王寺）、竹之内 龍

（灘）、田中碧斗（白陵）、田中悠太（灘）、谷浦遼祐（天王寺）、田淵光希（洛北）、土田陽智（金沢大附属）、翟 潤奇（灘）、遠山龍之介（洛南）、永井 希（金沢泉丘）、中尾 仁（灘）、中嶋夕葵（白陵）、永瀬雅哉（甲陽学院）、永富愛美（白陵）、西田竹宏（東大寺学園）、野中稜太（白陵）、花房圭吾（白陵）、針原利唯（金沢泉丘）、東出悠希（向陽）、樋口瑛大（小松）、人見 慶（洛北）、藤野大基（神戸大附属）、藤本翔大（神戸）、淵上理音（雄峰）、舟田 愛（高槻）、宝田怜弥（市立春日丘中）、細川昂大（富山中部）、松本 佑（神戸大附属）、水野嵩仁（白陵）、宮原大豪（西大和学園）、武川桜太郎（金沢大附属）、村上隼都（天王寺）、持田理乃（神戸大附属）、森井 陽（金沢大附属）、森田共一（神戸大附属）、柳田倅太（高槻）、山下純愛（洛南）、山野朔弥（白陵）、山本瑛太（守山）、吉川実樹（六甲学院）、吉田和也（天王寺）、吉田顕信（大阪星光学院）、渡邊周平（奈良高専）（敬称略）

中国四国支部支部長賞受賞者

中国四国支部

中国四国支部では昭和 59 年度より、支部の活性化と化学奨励を目的として、支部内の化学系工業高校および工業高等専門学校を対象に、化学の授業、実験ならびに研究を通して優れた成績をあげた生徒に支部長賞を授与しております。平成 10 年度からは受賞対象者を大学化学関連学科に、また平成 16 年度からは大学院化学関連専攻および化学グランプリの成績優秀者に拡大し、支部長賞を授与することになりました。

令和 6 年度は下記の方々全員に賞状を、また高校・高専の方には副賞として図書カードを贈呈いたしました。ここに受賞者の栄誉を讃え、その氏名を報告いたします。

■工業高校の部

小林夏希（米子工）、西村洋亮（岡山工）、横倉寛大（東岡山工）、芦田 滉（津山工）、畑 孝海（水島工）、横井隼人（倉敷工）、池田匠吾（福山工）、森田有翔（広島工）、美濃聖心（宮島工）、岩崎風雅（岩国工）、藤井響己（下松工）、三浦翔大（徳山商工）、田中蒼也（南陽工）、原田琉聖（宇部工）、吉岡朋樹（小野田工）、木内海人（下関工科）、濱口彩音（徳島科学技術）、原田真宝（高松工芸）、大山瑚々乃（坂出工）、酒井 真（松山工）、川又啓司（新居浜工）、溝渕明優（高知工）（以上 22 名）

■工業高等専門学校の部

大谷流摩（米子高専）、吉田花梨（米子高専）、安東潤一（津山高専）、堀部有希（宇部高専）、辻岡健人（阿南高専）、野村礼音（阿南高専）、香川佳弘（新居浜高専）、福田有里（新居浜高専）、四宮 虹（高知高専）、三谷功晟（高知高専）（以上 10 名）

■大学の部

神崎雄士（鳥取大工）、金光愛美（鳥取大工）、小木曾光星（島根大総理工）、沼田彩那（島根大生物資源科学）、大西一碧（岡山大工）、松山大希（岡山大理）、笹川真悠（岡山大農）、吉田尚生（岡山大薬）、四井颯良（岡山大薬）、岸本翔太郎（岡山理科大工）、三輪有志朗（岡山理科大工）、井田佳瑞（広島大理）、網本翔吾（広島大工）、酒井涼風（広島大工）、小谷侑菜（広島大教育）、舘内倫太郎（近畿大工）、土井駿輔（福山大薬）、柳井晶穂（山口大理）、中村聡志（山口大工）、貞政直輝（山口大工）、倉岡桃香（山口大農）、野村ゆず（山口東京理科大工）、林 朱音（徳島大理工）、桐畑尚真（徳島大理工）、久保花織（徳島大生物資源産業）、横井美里（鳴門教育大学学校教育）、小野玲奈（香川大教育）、岡本茉優（香川大農）、石渡祥子（香川大創造工）、三好夏未（徳島文理大香川薬）、上原璃子（愛媛大理）、定國里奈（愛媛大工）、西原歩夢（愛媛大農）、安達篤志（高知大理）

工), 田島 歩 (高知大農林海洋科学), 諏訪 凜 (高知大農林海洋科学), 植木智也 (高知工科大環境理工学群)

[以上 37 名]

■大学の部 (大学院)

三枝美月 (鳥取大院持続性社会創生科学研究科), 徳久歩乃佳 (鳥取大院持続性社会創生科学研究科), 村尾舞妃 (島根大院自然科学研究科), 山本虎次郎 (島根大院自然科学研究科), 田中竜馬 (岡山大院環境生命自然科学研究科), 山部靖治 (岡山大院ヘルスシステム統合科学研究科), 小松寿式千 (岡山大院環境生命自然科学研究科), 大田黒美季 (岡山大院環境生命自然科学研究科), 河野健人 (岡山理科大学理工学研究科), 仲 真三郎 (岡山理科大学理工学研究科), 児玉知輝 (広島大院先進理工系科学研究科), 藤野拓也 (広島大院統合生命科学研究科), 大重彩乃 (広島大院先進理工系科学研究科), 山本海利 (広島大院先進理工系科学研究科), 進藤愛美 (広島大院人間社会科学研究科), 中後朋也 (近畿大院システム工学研究科), 宗貞遥花 (山口大院創成科学研究科), 大石優希 (山口大院創成科学研究科), 新田恭之 (山口大院創成科学研究科), 杉永 滝 (山口大院創成

科学研究科), 田中美輝 (山口大院創成科学研究科), 富永貴太 (山口東京理科大学工学研究科), 平井健斗 (徳島大院創成科学研究科), 森 勇綺 (徳島大院創成科学研究科), 高橋孝輔 (徳島大院創成科学研究科), 高下朋子 (香川大院創成科学研究科), 白石純也 (徳島文理大院工学研究科), 谷岡雄真 (愛媛大院理工学研究科), 藤田 柊 (愛媛大院理工学研究科), 阿部風音 (愛媛大院農学研究科), 坪井春樹 (高知大院総合人間自然科学研究科), 洲脇 亮 (高知大院総合人間自然科学研究科), 塚原佳穂 (高知大院総合人間自然科学研究科), 矢野圭悟 (高知工科大院工学研究科) [以上 34 名]

■化学グランプリ受賞者

中原光翼 (城ノ内中等教育), 加藤弘起 (広島大附属), 田主凌一郎 (倉敷天城) [以上 3 名]

■化学グランプリ成績優秀者

黒崎智隆 (松江北), 堤 康稀 (徳山), 河原一真 (広島), 中井英里 (宇和島東), 綿貫啓人 (広島国泰寺), 岩本一輝 (慶進), 藤田真毅 (広島学院) [以上 7 名]
(敬称略)

九州支部支部長賞受賞者

九州支部

九州支部では、支部活性化と化学奨励を目的として支部長賞、若手研究者奨励賞およびポスター発表賞を制定しております。「九州支部長賞」(工業高校・高専本科・高専専攻科・大学学部対象)は、卒業生・修了生を対象に、人物および学業成績が優れた生徒に対して授与しています。また、「化学グランプリ九州支部長賞」は、日本化学会主催の化学グランプリにおいて九州支部内の参加者を対象に優れた成績を修めた生徒に対して授与し、「若手研究者奨励賞」は化学関連支部合同九州大会において、優れた成績を修めた方に対して授与しています。「ポスター発表賞」・「奨励賞」は九州支部フォーラムにおいて、優れた成績を修めた方に対して授与しています。

このたび、受賞者として下記の方々を選出しましたことを、ご報告いたします。

■九州支部長賞 (工業高校)

吉本隼樹 (小倉工), 山上倫太郎 (長崎工), 稲垣 心 (八代工), 松本匡生 (三池工), 石田悠晟 (大分工), 永田煌星 (玉名工), 宮城 颯 (沖縄工), 宮本仁紀 (熊本工), 西元聖七 (福岡工), 馬渡悠也 (八女工) [以上 10 名]

■九州支部長賞 (高専本科・専攻科)

松永 和, 森田瑛吉 (久留米高専), 松本心春, 糴 日菜 (北九州高専), 河野優生, 豊里 心 (有明高専), 武富友希, 吉富紗香 (佐世保高専), 柿本晃太郎, 宮本彩香 (熊本高専), 救仁郷明里, 山元理功 (都城高専) [以上 12 名]

■九州支部長賞 (大学・学部)

松永泰知 (熊大理), 税所康太 (九大理), 池宮城花南 (琉球大理), 下川瑞貴 (長崎大工), 谷川友陽 (九工大工), 立石駿斗 (九大工・分子), 藤本佳輝 (九大工・機能), 黒岩佐月 (佐賀大理工), 甲斐悠季乃 (大分大理工)

[以上 9 名]

■化学グランプリ九州支部長賞 (高校生対象)

武野智紀 (唐津東), 川畑 仁 (ラ・サール), 吉川紗良 (久留米大学附設), 平島颯人 (宮崎西), 比嘉天一朗 (昭和薬

科大学附属) [以上 5 名]

■若手研究者奨励賞 (無機化学)

高木裕司 (山口大院創成科学), 末成裕貴 (熊本大院自然科学), 笹倉大史 (九大院工), 竹田ひかり (宮崎大院工), 下川真依 (九大院理), 木村紗彩 (九大院理), 加嶋 輝 (熊本大院自然科学) [以上 7 名]

■若手研究者奨励賞 (物理化学)

遠藤大樹 (九大院工), 中川さくら (九大院工), 澤田侑大 (九大院工), 千綿佑典 (佐賀大院理工), 金子実和 (九大院工), 喜多亮介 (九大院工) [以上 6 名]

■九州支部フォーラムポスター発表賞

古賀咲也香 (宮崎大院工), 矢崎雅菜 (九大院生資環), 大塚陽彩 (九大院生資環), 井上舞香 (宮崎大院工), 石井颯人 (鹿児島大院理工), 黒田葉月 (宮崎大院工), 神川直也 (宮崎大院工) [以上 7 名]

■九州支部フォーラム奨励賞

守瀬 諒 (鹿本高) [以上 1 名]
(敬称略)

会員委員会からのお知らせ

〔日本化学会への入会勧誘のお願い〕

日本化学会の会員数は残念ながら減少が続いております。力強い化学会を目指すために、なにより会員増強が大きな意味を持つと考えております。

2016年6月16日から中高生会員制度を開始しました。身近な方で入会されていない方がおられましたら、積極的に入会をお勧め下さい。会員の皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。これまで新入会員の情報を紙面に掲載しておりましたが、今後は当会のホームページに掲載方法を変更させていただきます。詳細につきましては、ホームページにてご案内いたしますので、ご確認いただけますようお願い申し上げます。

〔会員訃報のお知らせ：2025/2/16-2025/3/15〕

6名の方の訃報に接しました。本会はここに謹んで哀悼の意を表するとともにご冥福をお祈りいたします。

小林 達哉 瀬尾 義光 藤越 秀明 村谷 俊雄 八木 功 山本 正夫

化学だいすきクラブ事業募金者ご芳名

(令和7年3月16日～令和7年4月15日)

ご芳志を賜りました下記の方々に対し、厚くお礼申し上げます。

○12,000円 Song Lin
○10,000円 赤井 周司 木崎 和郎
○3,000円まで 岸村 顕広

化学遺産事業募金者ご芳名

(令和7年3月16日～令和7年4月15日)

ご芳志を賜りました下記の方々に対し、厚くお礼申し上げます。

○3,000円まで 井口 一成

「化学と教育」誌 目次紹介と購読方法

化教誌編集委員会

1. 目次紹介 (第73巻第6号)

ヘッドライン：鉱物の科学

その他に、[実験の広場]、[新・講座] など。

※内容は変更になる場合があります。

2. 購読方法

〔個人〕

1) 日本化学会会員の方で、「化学と教育」誌を追加購読ご希望の場合は、5,400円(年額)をお支払いいただくことで購読いただけます。追加購読をご希望の場合には【お問合わせフォーム】からお申込み下さい。

【お問合わせフォーム】

<https://form.csj.jp/view.php?id=158655>

フォーム入力方法 (ご参考)

- ①[お問い合わせ内容の種類 - Subjects]: 「全般について」を選択
- ②[お問い合わせ内容詳細 (全般) - Sub-subjects]: 「【会誌】会誌の追加購読申込」を選択

③[追加購読誌 - Journal Subscriptions]: 「化学と教育」をチェック

*以降は必須事項をご入力下さい。

2) 化学または化学工業に関係のある学校教育に従事する方で購読希望の方は、教育会員(年間会費7,200円)として入会されますと化学と教育誌の無料配布が受けられます。また教育学生会員の方は年間会費が4,800円です。入会申込は、当会ウェブサイトの「日本化学会への入会案内」(<https://www.chemistry.or.jp/application/admission/index.html>) から行って下さい。

〔団体〕

学校、図書館、官公庁等、団体として購読することもできます。公共会員(年間9,000円)に入会されますと無料配布が受けられます。入会申込書は下記宛にご請求下さい。請求先: 101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5

日本化学会総務部会員 G

電話 (03) 3292-6169 ※AIにてご用件を承ります。

E-mail: csj-member@soubun.org